アブラゼミのからだ

たかはし そうし

今日、ぼくはせんだいのおじいちゃんとおばあちゃんの家にきました。さっそくちかくのこうえんにむしをとりにいきましたが、つかまえられませんでした。かえろうとしたとき、むしとりをしている六年生ぐらいのおねえちゃんと、おかあさんにあって、「これいるー？」ときかれました。

むしかごに、つかまえたたくさんのセミやトンボ、チョウなどがはいっていて、おせわできそうなアブラゼミ3びきだけもらいました。

こうびをしていた2ひきと、もういっぴきはメスでした。

ほかのチョウやトンボ、はねのやぶれているセミはおねえちゃんといっしょにバイバイといって、はなしました。ほんとうはアゲハチョウもかいたかったけど、はなしました。

とんでいくすがたが、きれいでした。

家にかえってかんさつしていると、はっけんが五こありました。

一つめは、なぜセミはまぶたがなくてもいきられるのかふしぎに思いました。人間はまぶたがないとかわいたり、赤くなってしまうと思うし、目をさわられたらいたくて目をとじてしまうと思います。でもセミにはまぶたがありません。セミの目をさわってみたら、いたがりもせずにうごきがとまりました。とてもふしぎでした。

二つめは、オスのおなかのわきのところがおおきくふくらんでいて、メスの同じところは、ふくらみがちいさかったです。しらべたらそれはふくべんといって、そこをふるわせてオスはなきます。メスにもふくべんがあるのになぜなかないのかと思いましたが、オスがじぶんのきれいなこえをメスにきいてもらうためです。オスのなきごえをこうえんの木にとまっているとききましたが、ジージー、ジージーと、油でなにかをあげているよう

な音にきこえました。だからアブラゼミとよぶんだと思いました。

三つめは、オスとメスのおしりの形がちがうことです。オスのおしりは丸くて、メスのおしりは三角でした。セミをもらったつぎの日、メスがおしりから黒くてほそいさんらんがんをだして、たまごをうむところを見ました。たまごの形は、白くてふさなほそながい形でした。これを見てぼくは、たまごをうむためのやくわりがオスとメスでちがうので、おしりの形もちがうと思いました。

四つめは、足や羽のつけねの近くにとげがありました。りゆうはわかりませんが、木がらおちそうになったときの命づなだと思います。

五つめは、セミのかおのひたいあたりに、三つの小さな赤いてんがあって、それはなんだろうと思いました。しらべたらそのてんは、たんがんといって、光をかんじるところだそうです。ぼくみたいに目で光をかんじないの

がふしぎでした。

いままでは、ずかんでしらべることがタタかったので、ほんものの セミを、こんなにまじかでかんさつできたことがうれしかったです。

ずかんでは、うつっていないこまかなところや、小さなとげなどを、はっけんできてうれしかったです。らいねんは、ほかのセミのかんさつもしてみたいです。